

入手困難なコンパクト長財布 “Loneo” シリーズ
 “Loneo basic VT” に新色グリーンが数量限定で登場！
 ～VINTAGE REVIVAL PRODUCTIONS、monovaにて好評販売中～



Loneo シリーズ初、色鮮やかなグリーンカラー

革製品の企画デザイン・製造・販売を行う「VINTAGE REVIVAL PRODUCTIONS」。一般販売開始以来、コンパクト長財布「Loneo」シリーズが大好評です。この度、イタリア製のベジタブルタンンドレザーで仕立てたベーシックモデル「Loneo basic VT」に、数量限定でグリーンが登場しました。

「Loneo」の大きな特長である「コンパクトなサイズ感」はほぼ変わらず、使い心地のよさにもこだわっています。一番手前に配置された曲線のカード段は、クレジットカードや会員証などを簡単に見分けられて取り出しやすくなっています。紙幣入れの奥には、ICカードを入れられるポケットもついているので、開かずに会計をすませることも可能です。

「Loneo basic」は国内提携工場で作られており、一部パーツの製作や最終検品等は、香川のヘッドファクトリーで行われています。

monova では、「Loneo」と「Loneo basic」シリーズを全てご覧いただけます。

Loneo basic VT

価格 : ￥35,200(税込)
 サイズ : W167×H87×D22mm
 素材 : 外装/イタリアンレザー(牛革) 内装/混合タンニン(牛革)、一部合成皮革
 カラー : Green(数量限定色) / Black / Camel

VINTAGE
 REVIVAL
 PRODUC
 TIONS

【VINTAGE REVIVAL PRODUCTIONS】2008年、デザイン・プロデュースを担当する兄が、製造を担当する弟と共に設立。社名は、設立当初ヴァンテージジーンズやパッチ素材を小物として“リバイバル”していたことに由来しています。元船舶設計士である兄がCADで設計し、幾度となくプロトタイプを製作し、辿り着いた製品群。使いやすさを優先したプロダクトは、新たな機能と独特のフォルムを成形しています。

■ <https://www.vrp-jp.com/about/>

オープンファクトリーイベント
「燕三条 工場の祭典2024」のご案内
2024年10月3日（木）～ 2024年10月6日（日）

工場や企業での見学・体験を通して、燕三条のものづくりや魅力に触れられる4日間



金属加工の産地として、全国的に有名な新潟県の燕三条地域。

燕市でカトラリーを手掛けている山崎金属工業は、デザインだけでなく口当たりや使い心地の良さにも定評があります。工場がテレビでたびたび紹介されることから、「実際に工場を見たい」というお客様からの声をいただくものの、普段は残念ながら一般公開されていません。

そんな中、1年に1回一般公開され、工場をご覧いただける人気のオープンファクトリーイベント「燕三条工場の祭典」が、今年も4日間にわたって開催されます。イベント期間は参加企業ごとに異なります。山崎金属工業は10月4日・5日の2日間、見学していただけます。両日とも予約制で「スプーンの口抜け」の体験会も行っておりますので、この機会にスプーン・フォークのカトラリーに興味のある方は、是非ご来場ください。

燕三条地域の企業が工場を一斉開放して、ものづくりの現場を見学・体験できる貴重な機会です。地域の108社が参加して、皆様をお待ちしております。

<山崎金属工業 開催期間>

開放日：10月4日（金）・10月5日（土）

営業時間：10:00～12:00、13:00～16:00

燕三条 工場の祭典2024

<開催概要>

日時：2024年10月3日（木）～ 2024年10月6日（日） 9:00～17:00

※工場により日時が異なります。工場紹介ページで必ずご確認ください。

主催：工場の祭典実行委員会

共催：燕商工会議所青年部、三条商工会議所青年部、燕市、三条市、（公財）燕三条地場産業振興センター

工場の祭典
Webサイト



【山崎金属工業株式会社】金属加工が盛んな新潟県燕三条地域でカトラリーを製造する山崎金属工業は、流行に左右されない長期的な視野に立ったものづくりを目指しています。洗練された美しいデザインは勿論のこと、細部まで磨き上げられたカトラリーの口当たりには多くのファンがあり、ノーベル賞授賞式の晩餐会にも使用されるなど、その評価は世界中に広がっています。

■ <https://www.yamazakitableware.co.jp/>

企画：monova / 協力：藤木伝四郎商店
「樺細工の茶筒百景 ～Tea caddy Views～」
2024年10月3日（木）～ 2024年10月29日（火）

秋田県・角館の伝統工芸品、樺細工の茶筒。作家モノも含めズラリ並べてご紹介します



monovaでは、スタートした2011年当初から秋田県角館の伝統工芸品である樺細工を紹介してまいりました。ご存知の通り、樺細工のなかでも茶筒はよく知られたアイテムであり、山桜の樹皮を活かした仕上がりからは自然の美しさを感じられ、一つ一つに異なる趣があります。暮らしに身近なモノに、ここまで自然の風合いを残している工芸はととても希少なのではないのでしょうか。そこに樺細工のもう一つの魅力があるように思います。

そこで、この展示では「樺細工の魅力を存分に感じていただく」と50種ほどの茶筒を集め、茶筒百景と題して開催します。見どころは何と言っても多彩な品揃えです。樹皮の表情を存分に活かした「霜降皮」と呼ばれる仕上げや、樹皮を薄く削って光沢を出した「無地皮」、一度樹から剥ぎ取った箇所に出てきた2度目の皮で仕上げたものなど、どれも野趣あふれる茶筒の逸品が50種ほど並びます。また、もう一つの見どころは、地元作家による1点ものの珍しい樺細工の茶筒です。他ではなかなか見られない個性のある茶筒がたくさん並びます。

秋は紅葉のシーズンです。樺細工の茶筒が並ぶ「自然の美と工芸の技の競演による景色」を是非、お楽しみください。



角館 伝四郎

樺細工の茶筒百景 ～Tea caddy Views～

<開催概要>

日時：2024年10月3日（木）～ 2024年10月29日（火）
10:30～18:30（水曜日休館）

会場：monova（東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー5階）

企画：monova

協力：株式会社藤木伝四郎商店

【株式会社藤木伝四郎商店】武家屋敷の街並み、桜の名所として知られる秋田県角館。樺細工は、その雪深い地域の武士の手内職として作られてきました。藤木伝四郎商店は江戸時代末期1851年の創業。厳選された素材と高い技術力で、確かな製品を作り続けています。モダンでシンプルなデザインは現代の暮らしにすっと溶け込み、静かに存在感を放ちます。

■ <https://denshiro.jp/>

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：赤澤

tel：03-6279-0688（10：30-18：30 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<https://www.monova-web.jp>